

2005 年度から 2024 年度までの岩木健康増進プロジェクト健診にご参加いただいた皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

研究課題名： 青森県民における HDL-C の長期変動の調査とその要因の解明

研究の目的

High density lipoprotein(HDL)は、コレステロール搬出能などにより脂質代謝において動脈硬化に防御的に働くコレステロール逆転送系の中心を担っている。日本人の HDL-C 値は 1980 年代から一貫して上昇していることが報告されており、生活習慣病リスクが低下していることとの関連が予想される。一方で、日本人の魚介類の肉類に対する摂取の比率は減少しており、魚介類に多く含まれるオメガ 3 脂肪酸が HDL-C 増加につながるとされる過去の報告とは矛盾が生じる結果となっている。

そこで、本研究では岩木プロジェクト健診データを用いて、青森県でも HDL-C の上昇が認められるかを検証し、HDL-C の上昇が認められた場合には同データを用いてその原因を解明する。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

対象となる方： 2005 年から 2024 年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方
利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である松木恒太の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：承認：2005 年 4 月 7 日承認, 2006 年 3 月 31 日承認, 2007 年 3 月 29 日承認,承認番号等: 2008-025, 2009-015, 2010-020, 2011-033, 2012-050, 2013-062, 2014-014,2014-377-1, 2016-028-1, 2021-030, 2018-012, 2020-046-4, 2020-046-1, 2020-046-5, 2021-166-3, 2023-007-1, 2023-191-1) 」において 2005~2024 年に取得された以下のデータ

【2005】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成 (TANITA)、血液・尿
既往歴 (高血圧, 貧血, 高脂血症, 糖尿病, 腎臓病, 肝臓病, 心臓病, その他)

【2006】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成 (TANITA)、血液・尿

【2007】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成 (TANITA)、血液・尿

【2008】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成 (TANITA)、血液・尿

【2009】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成（TANITA）、血液・尿

既往歴・家族歴・学歴（最終学歴，これまでのプロジェクトへの参加の有無，通院中の疾患の有無，現在服用中の薬剤）

【2010】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成（TANITA）、血液・尿

既往歴・家族歴・学歴（最終学歴，これまでのプロジェクトへの参加の有無，通院中の疾患の有無，現在服用中の薬剤）

【2011】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成（TANITA）、血液・尿、BDHQ、

既往歴・家族歴・学歴（最終学歴，これまでのプロジェクトへの参加の有無，通院中の疾患の有無，現在服用中の薬剤）

【2012】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成（TANITA）、血液・尿、BDHQ、

既往歴・家族歴・学歴（最終学歴，これまでのプロジェクトへの参加の有無，通院中の疾患の有無，現在服用中の薬剤）

【2013】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成（TANITA）、血液・尿、BDHQ、

既往歴・家族歴・学歴（最終学歴，これまでのプロジェクトへの参加の有無，通院中の疾患の有無，現在服用中の薬剤）

【2014】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成（TANITA）、血液・尿、BDHQ、

【2015】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成（TANITA）、血液・尿、BDHQ、

お薬手帳（薬剤名、分類、処方日）

【2016】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成（TANITA）、血液・尿、BDHQ、

お薬手帳（薬剤名,分類,処方日）

【2017】

Personal ID、個人記録票、健康調査票、体組成（TANITA）（InBody）、血液・尿、

BDHQ

【2018】

Personal ID、個人記録票（身長、血圧、通過チェック）、健康調査票、血液・尿、

お薬手帳、体組成（TANITA）（InBody）、BDHQ

【2019】

Personal ID、個人記録票（身長、体重、血圧、通過チェック）、健康調査票、血液・尿、

お薬手帳、体組成(TANITA)（InBody）、BDHQ

【2020】

Personal ID、個人記録票、体組成 (InBody)、健康調査票、血液・尿、BDHQ、お薬手帳

【2021】

Personal ID、個人記録票、体組成 (InBody)、健康調査票、血液・尿、BDHQ、お薬手帳記録

【2022】

Personal ID、個人記録票、体組成 (InBody)、健康調査票、血液・尿、FFQ 詳細版：食事摂取頻度調査 読み取り素データ (回答生データ)、お薬手帳記録

【2023】

Personal ID、DX システム出力データ (旧個人記録票)、体組成 (InBody)、健康調査票、血液・尿、FFQ 読み取り素データ (回答生データ)、お薬手帳記録

【2024】

Personal ID、DX システムデータ出力データ (旧個人記録表)、体組成 (InBody)、健康調査票、血液・尿、FFQ 読み取り素データ (回答生データ)、お薬手帳記録

具体的には、現在までに得られている岩木プロジェクト健診データから、HDL-C を含めた脂質関連データの推移を観察する。既報と同様に経時的に HDL-C 値の上昇が確認できた場合は、食事内容や喫煙・飲酒・運動などの生活習慣との関連や、アポ蛋白 A1 や脂肪酸など脂質に関連する生化学データなど、HDL-C の上昇と関連する因子を網羅的に検索する。手法としては、必要に応じて症例対照関連解析、層別解析、主成分分析、クラスター分析などを行い、単なる関連解析にとどまらず相互作用も念頭に解析を行う。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：承認：2005 年 4 月 7 日承認, 2006 年 3 月 31 日承認, 2007 年 3 月 29 日承認, 承認番号等: 2008-025, 2009-015, 2010-020, 2011-033, 2012-050, 2013-062, 2014-014, 2014-377-1, 2016-028-1, 2021-030, 2018-012, 2020-046-4, 2020-046-1, 2020-046-5, 2021-166-3, 2023-007-1, 2023-191-1)」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願**い」をご提出ください。

受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学講座 講師 松木 恒太 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話 0172-39-5062 Email matsukik@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス 研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205